

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議 (憲法会議)

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp
ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007
FAX03-3261-5453

2015年6月11日(木)

第477号 本号2号

戦争法案ボロボロ

国民を愚弄する法案、改めて廃案を求めます

6月9日の「平和安全法制」特別委員会の質疑では、法案のでたらめさがさらにうきぼりになり、「ボロボロ」の状態である。改めて廃案にするしかないことが鮮明になりました。

集団的自衛権についての「政府見解」の恣意的「活用」

1972年の政府見解は、憲法9条のもとでも個別的自衛権行使が許されるとする政府・内閣法制局の説明のための理由をのべたもので、「集団的自衛権行使は、憲法上許されない」と結論付けているものです。安倍首相と横畠法制局長官は理由部分と結論を分離し、「基本論理」=理由部分から集団的自衛権行使は可能との結論を導くという手法が明らかになりました。横畠氏をふくむ安倍一族はこれを昨年7月の閣議決定に持ち込みました。民主党辻元議員や日本共産党宮本徹議員の質問に、横畠氏は、「解釈変更を是としたのは私！」とあきれんばかりの厚顔ぶりを示しましたが、いつまでも通用する問題ではありません。

安倍首相頼りの「砂川判決根拠論」総崩れ

宮本徹議員は、砂川判決は駐留アメリカ軍が憲法9条2項に定める戦力であるかどうかを問うものであり、集団的自衛権についての判断をしているわけではないことを指摘しました。これに対し、横畠長官と中谷防衛大臣は質問をはぐらかすことはできてもまともには答えられませんでした。横畠長官は、「個別的自衛権、集団的自衛権という区別をして論じているわけではない」と答えざるを得ませんでした。

他国攻撃で存立が脅かされた国の存在の実例答えられず 「立法事実」なし！

宮本議員は「世界で他国に対する武力攻撃で、国の存立がおびやかされた国の例を示してみろ」と質問。中谷大臣も、岸田外務大臣も答えられませんでした。「立法事実」がなく、法案の提案理由の崩壊しました。国会を、国民をあざむく法案は撤回する以外にありません。

東京でも全国各地・草の根でも 声を、運動を、広げに広げ大攻勢を！！

13日(土)は「許すな！戦争する国づくり まもれ憲法と平和、いのちと暮らし STOP安倍政権 6・13大集会」

12 :20 プレ企画開始 東京臨海広域防災公園

14日(日)は「憲法共同センター(戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかに共同センター)全国交流集会」

10 :00~14:00 星陵会館【終了後「国会前集会」に合流】

14日(日)は「とめよう戦争法、集まろう国会へ。戦争させない・9条壊すな！総がかり行動 戦争法案反対国会前集会」

14 :00~15:30 国会議事堂周辺

15日(月)から24日(水) 国会前座り込み 10:00~17:00

日弁連院内勉強会に190人 集団的自衛権行使容認の「閣議決定」撤回、関連 法案反対の署名26万人分を提出

日本弁護士連合会は6月10日、国会内で「『安全保障法制』を問う」院内勉強会を開きました。日弁連の村越進会長は、「戦争は生きる権利を奪う最大の人権侵害だ。戦争をしない日本のあり方を根本から壊すものだ。閣議決定の撤回と法案に反対するとりくみを行ってきたが、26万の署名を本日提出する。人権と平和を守るため、国民が力を合わせるときだ。日弁連も全力を尽くしたい」とあいさつ。参加した、民主党、日本共産党、社民党、生活の党の30人の国会議員が決意を表明。自民党の村上



誠一郎衆議院議員も参加し、解釈改憲の手口にふれて「このことで突破口を開けば、主権在民、基本的人権に至るまで、時の政府の恣意によって憲法を曲げることが出来てしまう。民主主義の危機、ファシズムの危機だ。一部の国会議員でこんな法案を決めることはできない。」と安倍政権を痛烈に批判しました。

その後集められた26万人の署名を参加した国会議員に手渡しました。(写真)

元内閣官房副長官補の柳澤協二氏が「安保法制の論点」と題して講演しました。気づきにくいポイントの一つに自衛隊法改正案で自衛官に対する罰則の国外適用があるが、これは国外での武力行使が前提となっているからだ指摘しました。そして最後に「流れが変わってきた。世論を持続させ、盛り上げることが、強行採決に対する最大の『抑止力』だ」と語りました。

日弁連憲法問題対策本部副本部長の伊藤真氏が全国各地の弁護士会の活動などを報告し、最後に日弁連の鈴木克昌副会長が、署名は引き続き7月末まで進めること、再度院内勉強会も行い追加署名の提出も予定していること、7月15日には弁護士会館で安全保障法制のシンポを開催することなど、今後の活動にふれて、断固反対していくために総力を挙げてとりくむ決意を表明しました。

近日発売！！「憲法問題学習資料集」

憲法会議

憲法会議は戦争法案阻止の運動にやくだててほしいと願い、昨年の閣議決定、安保法制懇報告、2つの戦争法案の概要など、学習に運動にすぐに役立つ資料を満載した「資料集」を近く出版します。

予約・6月中のご注文には特典

予約、6月中にご注文いただいた方には、予価 1000円(本体価格)で提供(送料別、1冊から4冊までは86円)するなどの特典付です。

速報の速報

11日(木) 戦争法案反対国会前連続行動(4回目)に1700人が参加！